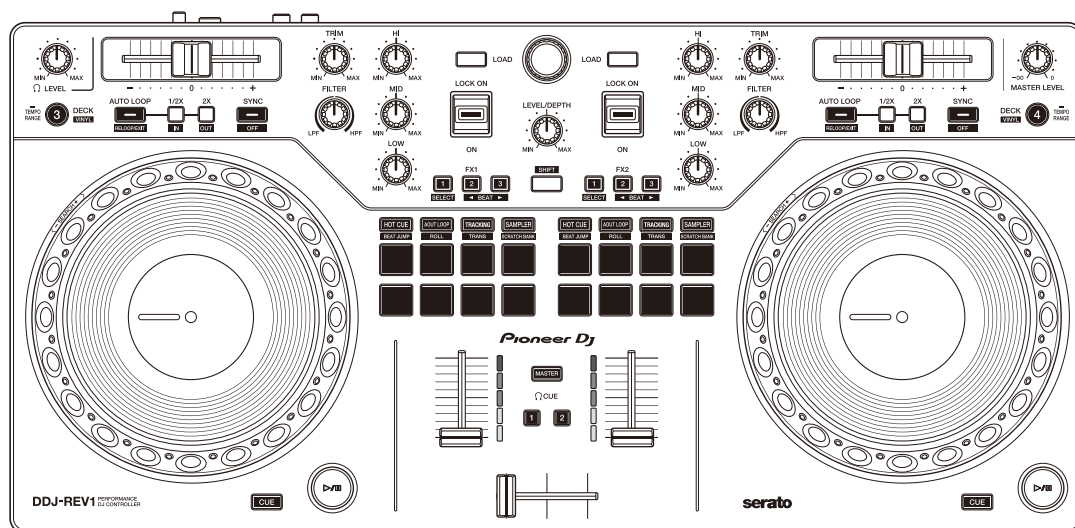


# 取扱説明書



DJコントローラー

# DDJ-REV1

[pioneerdj.com/support/](http://pioneerdj.com/support/)

[serato.com](http://serato.com)

上記のサイトで、本製品の最新のソフトウェア情報やFAQなどのサポート情報をご覧ください。

**Pioneer Dj**

**serato**

---

---

# もくじ

|                                   |    |
|-----------------------------------|----|
| はじめに.....                         | 3  |
| 本書の見かた .....                      | 3  |
| 付属品を確認する.....                     | 3  |
| マニュアルを閲覧する .....                  | 4  |
| DJ ソフトウェアについて .....               | 4  |
| 各部の名称とはたらき .....                  | 6  |
| 本体天面部 .....                       | 6  |
| ブラウズ部 .....                       | 7  |
| デッキ部 .....                        | 9  |
| ミキサー部 .....                       | 13 |
| エフェクト部 .....                      | 17 |
| 本体背面部 .....                       | 19 |
| 本体前面部 .....                       | 20 |
| 接続する .....                        | 21 |
| 接続例 .....                         | 22 |
| Serato DJ Lite を使用する .....        | 25 |
| Serato DJ Lite をインストールする .....    | 25 |
| 操作する（基本編）.....                    | 28 |
| 操作する（応用編）.....                    | 35 |
| 本機の設定を変更する .....                  | 47 |
| ユーティリティーモードを起動する .....            | 47 |
| ユーティリティーモード .....                 | 48 |
| その他.....                          | 50 |
| 故障かな？と思ったら .....                  | 50 |
| 仕様.....                           | 55 |
| 他の DJ ソフトウェアのコントローラーとして使用する ..... | 56 |
| 商標および登録商標について .....               | 57 |
| ソフトウェアのライセンス .....                | 58 |
| 著作権についてのご注意 .....                 | 60 |

---

---

# はじめに

---

---

## 本書の見かた

- このたびは、Pioneer DJ 製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。  
本書と本機に付属している「クイックスタートガイド」および「使用上のご注意」を必ずお読みください。すべて、この製品の使用前にご理解いただくべき重要事項が含まれています。
- 本書では、製品本体、PC/Mac 画面、およびモバイルデバイス画面に表示されるメニュー名、ボタン名および端子名などを、[ ] で囲んで記載しています。  
(例：[Files]、[CUE] ボタン)
- 本書で説明しているソフトウェアの画面と仕様、およびハードウェアの外観と仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 本書で説明している手順については、OS のバージョン、ウェブブラウザの設定などにより記載の動作と異なる場合があります。
- 本書で説明しているソフトウェアの画面の言語が、実際の画面の言語と異なる場合があります。

---

---

## 付属品を確認する

- USB ケーブル
  - 保証書（一部の地域）\*
  - クイックスタートガイド
  - 使用上のご注意
- \* 欧州向け製品のみ。（日本向け、北米地域は「使用上のご注意」に記載されています。）

---

## マニュアルを閲覧する

---

---

### Serato DJ Lite ソフトウェア マニュアル

---

下記サイトをご確認ください。

[serato.com/dj/lite/downloads](http://serato.com/dj/lite/downloads)

---

## DJ ソフトウェアについて

---

---

### Serato DJ Lite

---

Serato DJ Lite は、Serato Limited 社製の DJ ソフトウェアです。

Serato DJ Lite ソフトウェアは本製品には付属されていません。下記のサイトにアクセスして、Serato DJ Lite ソフトウェアをダウンロードしてください。

[serato.com/dj/lite/downloads](http://serato.com/dj/lite/downloads)

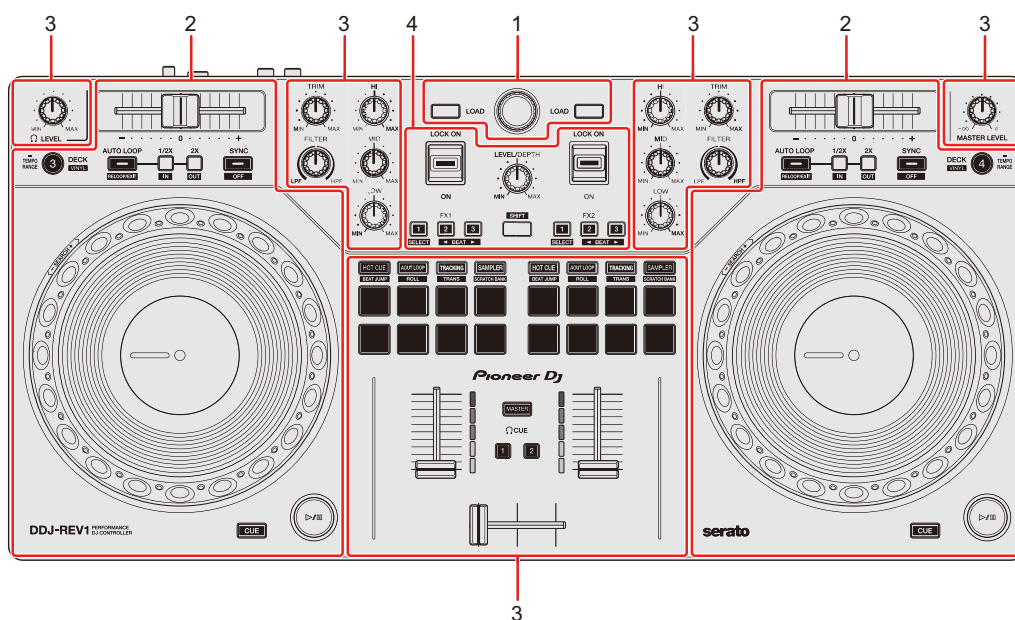
- ユーザーアカウントの登録が完了していないお客様は、以下の操作をしてユーザーアカウントの登録を行ってください。
  - 画面の指示に従って、E-mail アドレス、設定したいパスワードを入力の上、**[Create account]** アイコンをクリックし、次の画面に表示された質問に答え、Serato DJ Lite ソフトウェアをダウンロードしてください。
  - ユーザーアカウント登録が完了すると、入力した E-mail アドレスに E-mail が送信されますので、「Serato.com」から送信された E-mail の内容を確認してください。
- ユーザー登録の際にご指定いただきましたお客様の E-mail アドレスとパスワードは、お忘れにならないように十分ご注意ください。ソフトウェアのアップデートをするときに必要になります。
- 新規ユーザーアカウントの登録時に入力する個人情報は、Serato Limited 社ウェブサイトの個人情報保護方針に基づき、収集、処理、使用されます。
- Serato DJ Lite の最新の動作環境、互換性、および対応 OS に関する情報は、下記サイトを参照してください。

[serato.com/dj/lite/downloads](http://serato.com/dj/lite/downloads)
- 上記のサイトに記載の動作環境を満たしている、すべての PC/Mac における動作を保証するものではありません。

- PC/Macの省電力設定などの状態によっては、CPUやハードディスクの処理能力を十分に発揮できないことがあります。特にノート型のPC/Macでは、AC電源を接続するなど、高パフォーマンス設定でSerato DJ Liteを使用してください。

# 各部の名称とはたらき

## 本体天面部



### 1. ブラウズ部

再生するトラックを選択し、各デッキにロードします。

### 2. デッキ部

4つのデッキをコントロールします。コントローラー左側にデッキ1 およびデッキ3、コントローラー右側にデッキ2およびデッキ4 を操作するノブやボタンがあります。

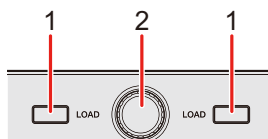
### 3. ミキサー部

各チャンネルのレベル調整や楽曲ミックスなどをコントロールします。

### 4. エフェクト部

エフェクトユニットをコントロールします。

## ブラウズ部



### 1. LOAD ボタン

押す：

選んでいるトラックをそれぞれのデッキにロードします。

2 回押す：

操作していない方のデッキにロードされているトラックを、操作側のデッキにロードします。

トラックが再生中のときは同じ位置から再生されます。(インスタントダブルス)

[SHIFT] + 押す：

各[LOAD]ボタンを押すと、ライブラリのトラックリストをソートします。

deck1：BPMでソートします。

deck2：アーティストでソートします。

### 2. ロータリーセクター (back)

回す：

ライブラリやcratesパネルのカーソルが上下に移動します。

押す：

カーソルがcratesパネルかライブラリにある場合は、ロータリーセクター (back) を押すたびに、cratesパネルとライブラリの間でカーソルが移動します。

カーソルが[Files]パネルにある場合は、カーソルが下位階層へ移動します。

# 各部の名称とはたらき

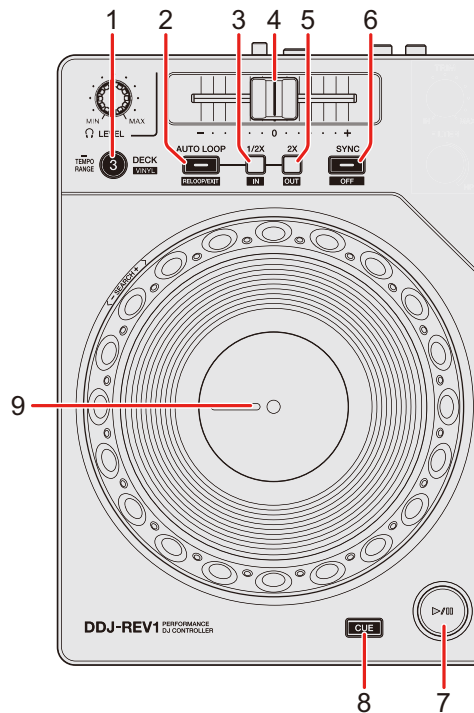
**[SHIFT]** + 押す：

カーソルが **crates** パネルにあるときは、**subcrates** を開くか、または閉じます。

カーソルがライブラリにあるときは、**crates** パネルへ移動します。

カーソルが **[Files]** パネルにある場合は、**[Files]** パネルのカーソルが上位階層へ移動します。

## デッキ部



### 1. DECK(デッキ切替え)ボタン

押す：

操作するデッキを切替えます。

[SHIFT] + 押す：

VINYLモードをオン／オフします。

1秒以上押す：

ボタンを1秒以上押すたびに、テンポスライダーの可変範囲が切替わります。

▶ **[±8%] → [±16%] → [±50%]**

# 各部の名称とはたらき

## 2. AUTO LOOP ボタン

押す：

オートループをオン/オフします。

**[SHIFT]** + 押す：

前回設定したループインポイントに戻り、ループ再生を再開します。

ループ再生中に押す：

ループ再生を解除します。

## 3. Loop 1/2X ボタン

押す：

ループ再生の長さを半分にします。

**[SHIFT]** + 押す：

ループインポイントが設定されます。

ループ再生中に押す：

ジョグを使ってループインポイントを微調整することができます。

## 4. テンポスライダー

トラックの再生速度を調整します。

## 5. Loop 2X ボタン

押す：

ループ再生の長さを2倍にします。

**[SHIFT]** + 押す：

ループアウトポイントが設定され、ループ再生を始めます。

# 各部の名称とはたらき

ループ再生中に押す：

ジョグを使ってループアウトポイントを微調整することができます。

## 6. SYNC ボタン

押す：

複数のデッキのテンポ（ピッチ）を自動で合わせることができます。

**[SHIFT] + 押す：**

Sync を解除します。

## 7. プレイ／ポーズ▶/■ ボタン

押す：

トラックを再生／一時停止します。

**[SHIFT] + 押す：**

テンポラリーキューポイントに戻って再生を続けます。（スタッター）

## 8. CUE ボタン

押す：

テンポラリーキューポイントを設定、再生、呼び出します。

- 一時停止中にボタンを押すとテンポラリーキューポイントを設定します。
- 再生中にボタンを押すとテンポラリーキューポイントに戻り、一時停止します。（バックキュー）
- テンポラリーキューポイントに戻ったあとにボタンを押し続けると、ボタンを押し続けている間、再生を続けます。（キューポイントサンプラー）

**[SHIFT] + 押す：**

ライブラリの中の1つ前のトラックをロードします。（プレビアストラック）

- 現在の再生位置がトラックの先頭でないときは、トラックの先頭に戻ります。

## 9. ジョグ

VINYL モードがオンのときに天面を回す：

スクラッチ操作ができます。

外周部を回す、または VINYL モードがオフのときに天面を回す：

ピッチベンド操作（再生速度の調整）ができます。

[SHIFT] + 天面を回す：

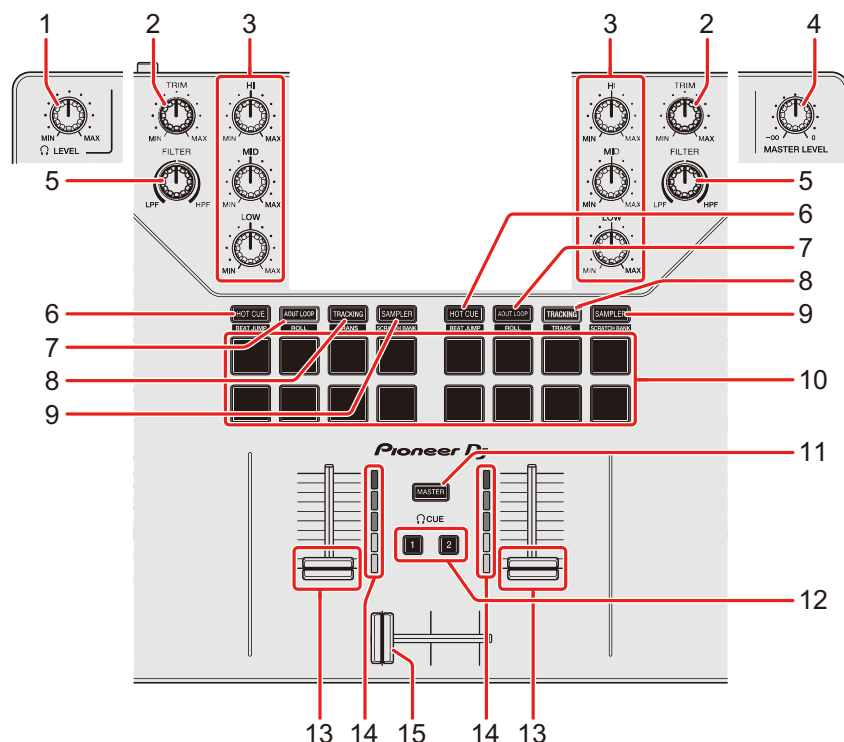
ジョグを回す方向に高速でトラックを送ります。

### Serato DJ Pro

ビートに同期して再生位置がスキップします。（スキップモード）

- スキップモードはビートグリッドが設定されていないトラックではお使いいただけません。ビートグリッドの設定方法の詳細については、Serato DJ Pro のソフトウェア マニュアルをご覧ください。
- スキップモードを使うには、Serato DJ Pro の **[SETUP]** メニューにある **[SYNC PREFERENCES]** を **[Smart Sync]** に切替える必要があります。

## ミキサー部



### 1. (ヘッドホン) LEVEL ノブ

ヘッドホン出力の音声レベルを調整します。

### 2. TRIM ノブ

各チャンネルから出力される音声レベルを調整します。

### 3. EQ (HI、MID、LOW) ノブ

各チャンネルに対してそれぞれの周波数域を増減させることができます。

### 4. MASTER LEVEL ノブ

マスター出力の音声レベルを調整します。

### 5. FILTER ノブ

各チャンネルに対して、フィルターエフェクトをかけます。

ノブがセンター位置のとき原音が出力されます。

# 各部の名称とはたらき

左回し：

ローパスフィルターのカットオフ周波数が徐々に下がります。

右回し：

ハイパスフィルターのカットオフ周波数が徐々に上がります。

## 6. HOT CUE モードボタン

押す：

ホットキューモードに設定します。

➡ 「Hot Cue を使う」 (36 ページ)

[SHIFT] + 押す：

**Serato DJ Pro**

ビートジャンプモードに設定します。

## 7. AUTO LOOP モードボタン

押す：

オートループモードに設定します。

➡ 「Auto Loop を使う」 (37 ページ)

[SHIFT] + 押す：

**Serato DJ Pro**

ロールモードに設定します。

## 8. TRACKING SCRATCH モードボタン

押す：

トラッキングスクラッチモードに設定します。

➡ 「Tracking Scratch を使う」 (37 ページ)

# 各部の名称とはたらき

**[SHIFT]+押す：**

トランスモードに設定します。

➡「Transを使う」(39 ページ)

## 9. SAMPLER モードボタン

押す：

サンプラーモードに設定します。

➡「Samplerを使う」(38 ページ)

**[SHIFT]+押す：**

スクラッチバンクモードに設定します。

➡「Scratch Bankを使う」(40 ページ)

## 10. パフォーマンスパッド

押す：

パッドを使って、さまざまなパフォーマンスをすることができます。

➡「Performance Padsを使う」(36 ページ)

## 11. 🎧(ヘッドホン) CUE ボタン (MASTER)

押す：

マスター出力の音声ヘッドホンから出力されます。

## 12. 🎧(ヘッドホン) CUE ボタン (チャンネル)

押す：

押してあるチャンネルの音声ヘッドホンから出力されます。

**[SHIFT]+押す：**

ボタンをタップすることで各デッキのテンポを設定できます。(タップ機能)

## 13. チャンネルフェーダー

各チャンネルから出力される音声レベルを調整します。

# 各部の名称とはたらき

**[SHIFT]**＋スライドする：

フェーダースタート機能を使います。

## 14. チャンネルレベルインジケータ

各チャンネルのチャンネルフェーダー通過前の音声レベルを表示します。

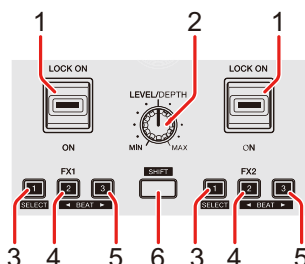
## 15. クロスフェーダー

クロスフェーダーカーブ設定に従って、左右に割り当てられたチャンネルの音声を出力します。

**[SHIFT]**＋スライドする：

フェーダースタート機能を使います。

## エフェクト部



### 1. エフェクトレバー

エフェクトを加えます。

- **[ON]**：エフェクトレバーを**[ON]**の位置に合わせている間、エフェクトがかかります。レバーを離すと中央の位置に戻り、エフェクトがオフになります。
- **[LOCK ON]**：**[LOCK ON]**の位置に合わせている間、エフェクトがかかります。エフェクトをオフにするには、レバーを中央の位置に戻してください。

### 2. LEVEL/DEPTH ノブ

エフェクトのパラメーターを調節します。

### 3. エフェクト1ボタン

押す：

**[FX]**パネル内左側（スロット1）のエフェクトが選択されます。

**[SHIFT]**＋押す：

**[FX]**パネル内左側（スロット1）のエフェクトの種類を切替えます。

### 4. エフェクト2ボタン

押す：

**[FX]**パネル内中央（スロット2）のエフェクトが選択されます。

**[SHIFT]**＋押す：

ボタンを押すたびにエフェクト音を同期させる拍の倍率が小さくなります。

## 5. エフェクト3ボタン

押す：

**[FX]** パネル内右側（スロット3）のエフェクトが選択されます。

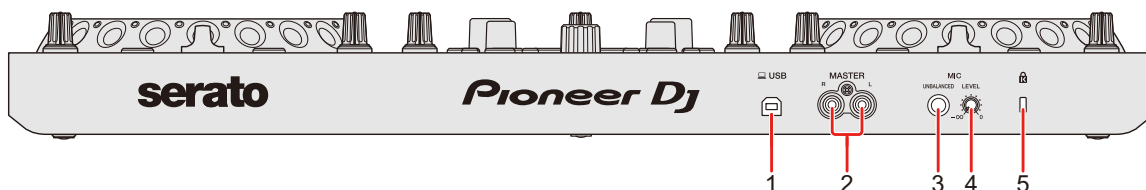
**[SHIFT]** + 押す：

ボタンを押すたびにエフェクト音を同期させる拍の倍率が大きくなります。

## 6. SHIFT ボタン

**[SHIFT]** ボタンを押しながら他のボタンを押すと、別の機能呼び出せます。

## 本体背面部



### 1. USB端子

PC/Macと接続します。

- 性能維持のため接続には必ず付属のUSBケーブルを使用してください。
- USBハブは使えません。
- USB Type-C端子のみが用意されているPC/Macをお使いの場合は、USB Type-C（オス）－USB Type-A（メス）ケーブルが別途必要になります。

### 2. MASTER出力端子（RCAピンジャック）

パワードスピーカーやパワーアンプなどを接続します。

- RCAピンジャック型のアンバランス出力に対応しています。

### 3. MIC入力端子（1/4” TS ジャック）

マイクを接続します。

- アンバランス入力のみに対応しています。

### 4. MIC LEVEL ノブ

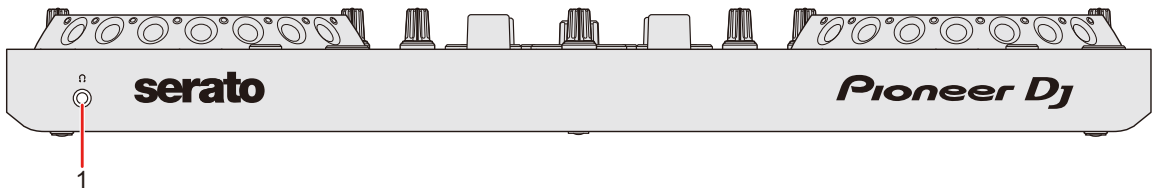
[MIC]入力端子に入力される音声レベルを調整します。

- マイクを使わないときは、音量を最小（-∞）にしてください。

### 5. ケンジントンロック装着用穴

盗難防止用のワイヤーロックを装着するための穴です。

## 本体前面部



### 1. $\Omega$ (ヘッドホン) 出力端子

ヘッドホンを接続します。

ステレオミニプラグ (3.5 mm) に対応しています。

- インピーダンスが32  $\Omega$  以上のヘッドホンを接続してください。インピーダンスが32  $\Omega$  より小さいヘッドホンには対応していません。

---

---

# 接続する

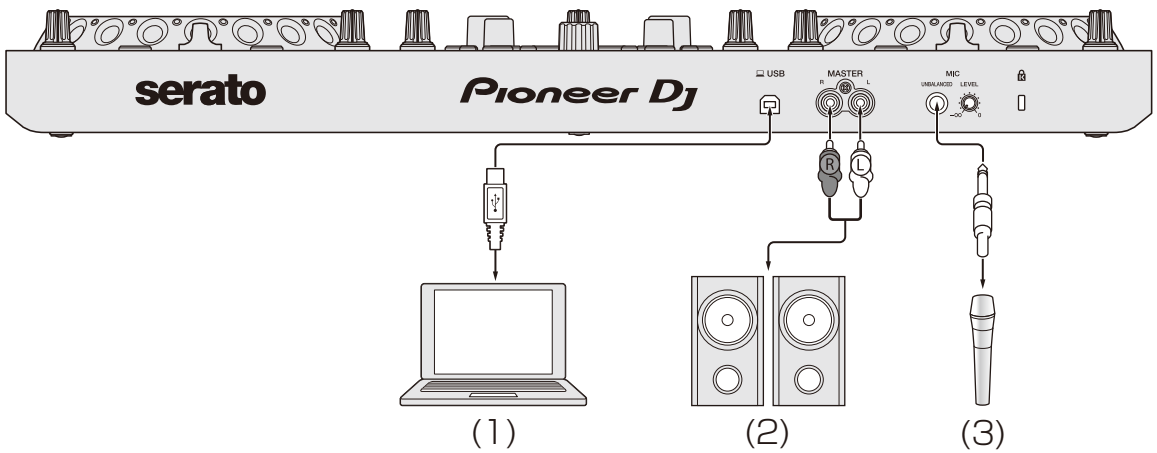
- 機器の接続を行う場合、あるいは変更を行う場合には、USB ケーブルを抜いてから行ってください。  
接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- 本機は USB バスパワーで電源が供給されます。USB ケーブルで本機と PC/Mac を接続するだけで使用できます。
- 接続する USB ケーブルは、性能維持のため必ず付属のケーブルを使用してください。
- USB ハブは使えません。
- 以下のような場合に、USB バスパワーで動作しないことがあります。
  - PC/Mac 本体の USB 端子の電源供給能力が不足している。
  - PC/Mac に他の USB 機器を接続している。
  - インピーダンスが  $32\ \Omega$  より小さいヘッドホンに接続している。
  - ヘッドホン出力端子にモノラルプラグを接続している。

## 接続例

### 入出力端子に接続する

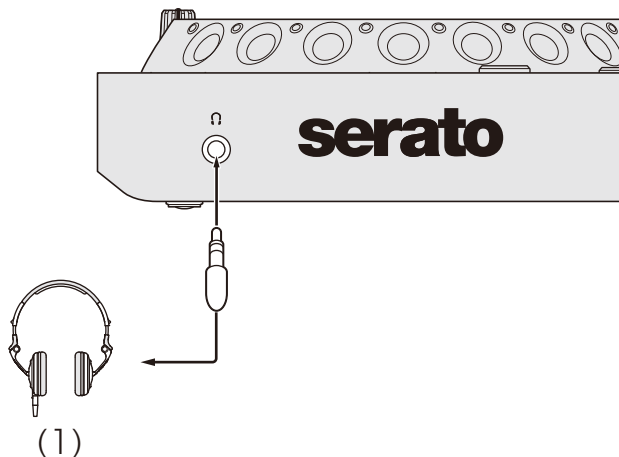
#### 本体背面部

- (1) PC/Mac
- (2) パワースピーカー、パワーアンプなど
- (3) マイク
  - [MIC]入力端子は、アンバランス入力のみに対応しています。
  - マイクを使わないときは、[MIC LEVEL]ノブで音量を最小にしてください。



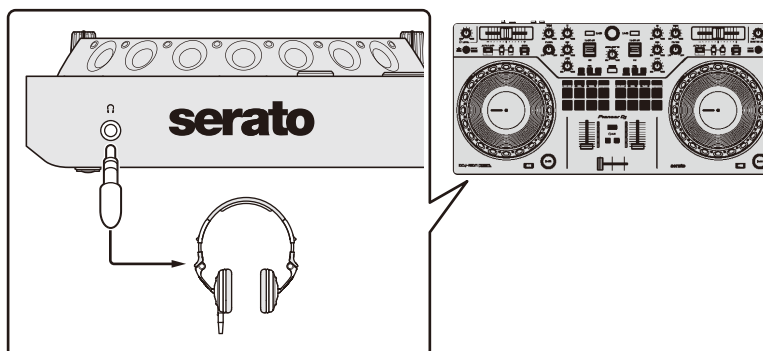
#### 本体前面部

- (1) ヘッドホン



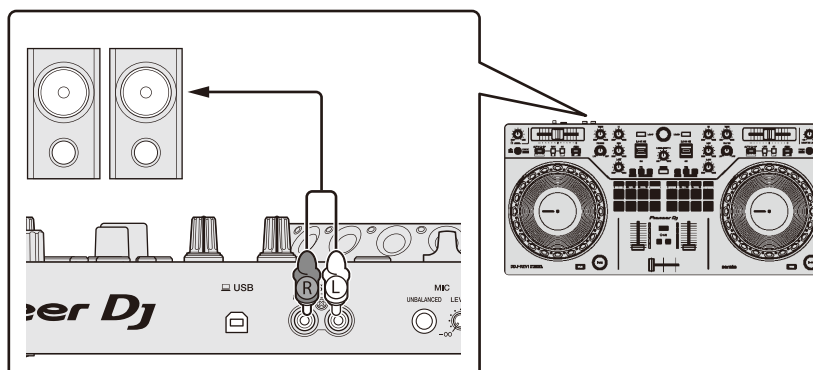
## 接続の手順

### 1 ヘッドホン出力端子にヘッドホンを接続する

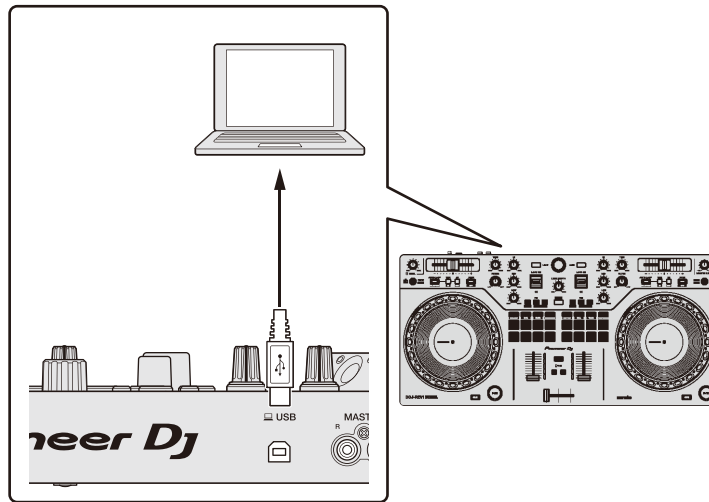


- インピーダンスが32  $\Omega$  以上のヘッドホンを接続してください。インピーダンスが32  $\Omega$  より小さいヘッドホンには対応していません。

### 2 [MASTER]出力端子にパワードスピーカー、パワーアンプなどの機器を接続する



## 3 本機とPC/MacをUSBケーブルで接続する



## 4 PC/Macの電源をオンにする

## 5 入出力端子に接続された機器（パワースピーカー、マイクなど）の電源を入れる

---

---

# Serato DJ Lite を使用する

---

---

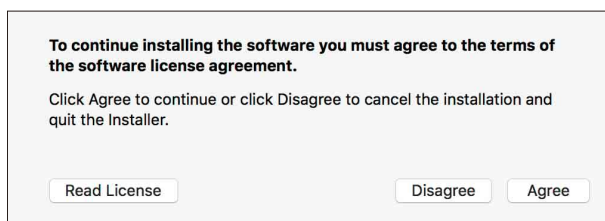
## Serato DJ Lite をインストールする

### ❖ インストール手順（Mac）

インストールが完了するまでは、本機と Mac を接続しないでください。

- Mac 上で他に作業中のプログラムがあれば、すべて終了させてください。

- 1 ダウンロードした Serato DJ Lite ソフトウェアファイルを解凍する
- 2 解凍したソフトウェアファイルをダブルクリックして、インストーラーを起動させる
- 3 使用許諾契約の内容をよく読み、同意する場合は[同意する]をクリックする

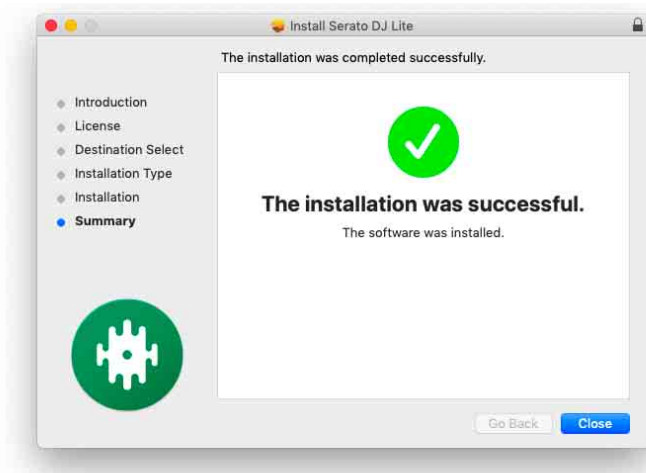


- 使用許諾契約の内容に同意しないときは【同意しない】をクリックしてインストールを中止してください。

- 4 【インストール】をクリックする
- 5 画面の指示に従ってインストールする

# Serato DJ Lite を使用する

## 6 【閉じる】をクリックして、インストーラーを終了させる



### ❖ インストール手順 (Windows)

インストールが完了するまでは、本機とPCを接続しないでください。

- PCの管理者に設定されているユーザーでログイン（またはログオン）してからインストールしてください。
- PC上で他に作業中のプログラムがあれば、すべて終了させてください。

## 1 ダウンロードしたSerato DJ Lite ソフトウェアファイルを解凍する

## 2 解凍したソフトウェアファイルをダブルクリックして、インストーラーを起動させる

## 3 使用許諾契約の内容をよく読み、同意する場合は[I agree to the license terms and conditions]を選択し、[Install]をクリックする

- 使用許諾契約の内容に同意しないときは、【Close】をクリックしてインストールを中止してください。



# Serato DJ Lite を使用する

インストールが完了すると、インストール完了画面が表示されます。

## 4 [Close]をクリックしてSerato DJ Lite インストーラーを終了させる



## 操作する（基本編）

---

### Serato DJ Lite を起動する

本書は、本機のハードウェアとしての機能を中心に説明が構成されています。詳しい Serato DJ Lite ソフトウェアの操作については、Serato DJ Lite のソフトウェアマニュアルをご覧ください。

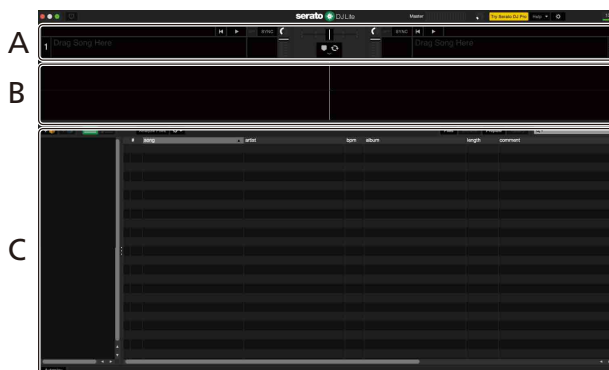
#### Mac のとき

Finder で【アプリケーション】フォルダーを開いてから、【Serato DJ Lite】のアイコンをダブルクリックする

#### Windows 10 のとき

【スタート】メニューから、【Serato】>【Serato DJ Lite】のアイコンをクリックする

#### Serato DJ Lite ソフトウェア起動直後の PC/Mac 画面



# Serato DJ Lite を使用する

## Serato DJ Lite ソフトウェアにトラックをロードしたときのPC/Mac 画面



### A デッキ部

ロードされたトラックの曲名、アーティスト名、BPMなどのトラック情報や全体波形などを表示します。

### B ウェーブフォームディスプレイ

ロードされたトラックの波形を表示します。

### C ブラウズ部

ライブラリの中のトラックや複数のトラックをまとめて保存したcrateを表示します。

## トラックをインポートする

- Serato DJ Lite ソフトウェアでは、さまざまなインポート方法があります。詳細については、Serato DJ Lite のソフトウェアマニュアルをご覧ください。
- すでに Serato Limited 社の DJ ソフトウェア（Scratch Live、ITCH、Serato DJ Intro、Serato DJ、Serato DJ Pro）をお使いのお客様で、トラックライブラリを作成されている場合は、以前作成したトラックライブラリをそのまま使うことができます。
- Serato DJ Intro をお使いのお客様で、すでにトラックライブラリを作成されている場合は、トラックの再解析が必要になる場合があります。

以下では、トラックをインポートする代表的な操作方法について説明します。

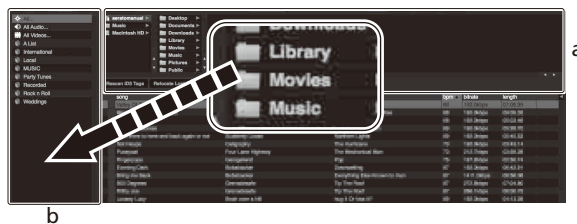
### 1 Serato DJ Lite ソフトウェア画面の [Files] ボタンをクリックして [Files] パネルを開く

お使いの PC/Mac および PC/Mac に接続されている周辺機器の中身が [Files] パネルに表示されます。

### 2 [Files] パネル内でライブラリに加えたいトラックが含まれているフォルダーをクリックして選択する

### 3 Serato DJ Lite ソフトウェアの画面上で、選択したフォルダーを crates パネルにドラッグ&ドロップする

crate が作成され、ライブラリにトラックが追加されます。



a [Files] パネル

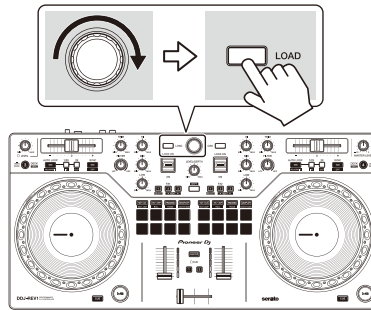
b crates パネル

## トラックをデッキにロードする

以下では、デッキ 1 (左側) にトラックをロードする方法を例にして説明します。

ロータリーセクター (back) を回して、ライブラリ内のトラックを選択し、デッキ 1 (左側) の[LOAD]ボタンを押す

トラックがデッキにロードされます。



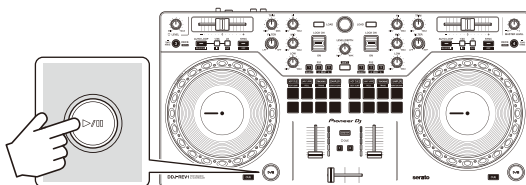
## トラックを再生する

以下では、デッキ1（左側）の音声を出力する方法を例にして説明します。

### 1 以下のように、ノブなどの位置を設定する

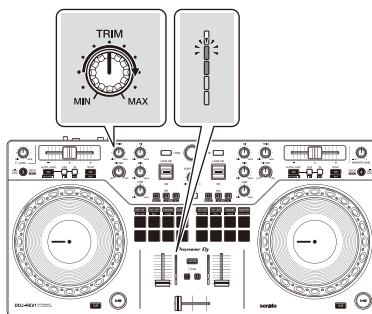
- [TRIM]ノブ：左に回しきった位置
- EQ [HI、MID、LOW]ノブ：中心位置
- [FILTER]ノブ：中心位置
- チャンネルフェーダー：手前側の位置
- [MASTER LEVEL]ノブ：左に回しきった位置
- クロスフェーダー：中心位置

### 2 プレイ／ポーズ [▶/⏏] ボタンを押してトラックを再生する

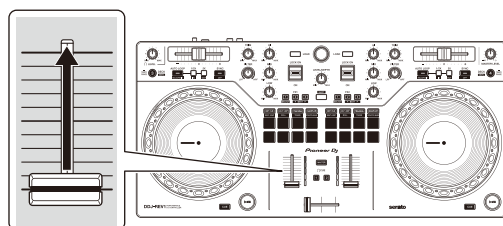


### 3 [TRIM]ノブを回す

チャンネルレベルインジケータのオレンジ色のインジケータが、ピークレベルで点灯するように、[TRIM]ノブを調整してください。

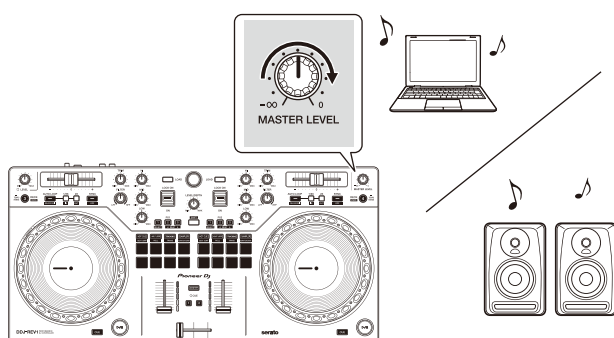


## 4 チャンネルフェーダーを奥側に動かす



## 5 [MASTER LEVEL] ノブを回して、スピーカーの音声レベルを調整する

[MASTER]出力端子から出力される音声レベルを適切な音量に調整します。



- [MASTER]出力端子から音声が出力されないときや、本機をPC/Macに接続しても認識しないときなどは、Pioneer DJサポートページへアクセスして、**[よくある質問 (FAQ)]**を確認してください。

[pioneerdj.com/support/](http://pioneerdj.com/support/)

## ヘッドホンで音声をモニターする

以下では、デッキ1（左側）の音声を出力する方法を例にして説明します。

- 1 ヘッドホン [LEVEL] ノブを左に回しきる
- 2 チャンネル1のヘッドホン[CUE]ボタンを押す
- 3 ヘッドホン [LEVEL] ノブを回す

ヘッドホンから出力される音声レベルを適切な音量に調整します。

---

## Serato DJ Lite を終了する

[×]ボタンをクリックする

---

## 本機の電源をオフにする

USBケーブルをPC/Macから抜いて本機の電源をオフにしてください。

---

## 操作する（応用編）

---

### Manual Loop を使う

指定した区間を繰り返し再生できます。

- 1 再生中にループ再生を始めたい位置（ループインポイント）で、[SHIFT] ボタンを押しながら Loop [1/2X] ボタンを押す
- 2 ループ再生を終わりたい位置（ループアウトポイント）で、[SHIFT] ボタンを押しながら Loop [2X] ボタンを押す

ループ再生が始まります。

#### ❖ ループを分割する

ループ再生中に Loop [1/2X] ボタンを押す

ボタンを押すたびに、ループ再生の長さが半分に分割されます。

#### ❖ ループを延長する

ループ再生中に Loop [2X] ボタンを押す

ボタンを押すたびに、ループ再生の長さが2倍に延長されます。

#### ❖ ループ再生を解除する

[SHIFT] ボタンを押しながら [AUTO LOOP] ボタンを押す

ループアウトポイントになってもループインポイントには戻らず再生を続けます。

## Performance Pads を使う

それぞれの機能はパッドモードボタン（[HOT CUE] モードボタン、[AUTO LOOP] モードボタン、[TRACKING] SCRATCH モードボタン、[SAMPLER] モードボタン）で切替えます。

### ❖ Hot Cue を使う

ホットキューを設定した位置から瞬時に再生できます。

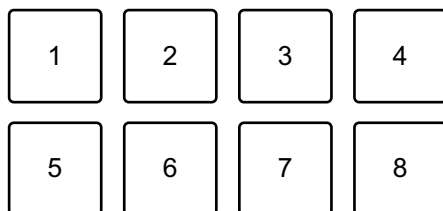
- ホットキューポイントは1トラックにつき4か所まで設定および保存できます。

#### 1 [HOT CUE] モードボタンを押す

ホットキューモードに切替わります。

#### 2 再生中または一時停止中にパフォーマンスパッドを押して、ホットキューポイントを設定する

各ホットキューポイント、プレビーストラック、サーチおよびCensorは、以下のようにパフォーマンスパッドの各パッドに割り当てられます。



1：ホットキュー A、2：ホットキュー B、3：ホットキュー C、4：ホットキュー D、  
5：プレビーストラック、6：サーチ ◀◀、7：サーチ ▶▶、8：Censor

- Censor：パッド8を押している間逆方向に再生し、パッドから指を放すと通常の再生に戻ります。

#### 3 ホットキューポイントが設定されたパフォーマンスパッドを押す

ホットキューポイントから再生が始まります。

- [SHIFT] ボタンを押しながらパフォーマンスパッドを押すと、設定されたホットキューポイントを消去できます。

## ❖ Auto Loop を使う

パフォーマンスパッドを押すと、パフォーマンスパッドに割り当てられている拍数のループが設定され、パフォーマンスパッドを離してもループ再生を続けます。

### 1 [AUTO LOOP]モードボタンを押す

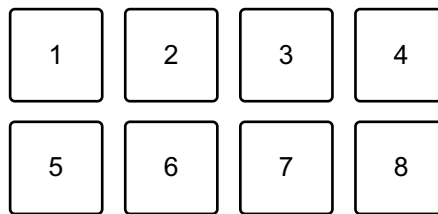
オートループモードに切替わります。

### 2 再生中にパフォーマンスパッドを押す

パフォーマンスパッドに割り当てられている拍数のループ再生を開始します。

- もう一度同じパフォーマンスパッドを押すと、ループ再生を解除します。

拍数、プレビーストラック、サーチおよびCensorは、以下のようにパフォーマンスパッドの各パッドに割り当てられます。



1：1拍、2：2拍、3：4拍、4：8拍、5：プレビーストラック、6：サーチ ◀◀、  
7：サーチ ▶▶、8：Censor

## ❖ Tracking Scratch を使う

パフォーマンスパッドを押して、ジョグを回すことで、ジョグの折り返し位置でホットキューポイントから再生を開始し、パフォーマンスパッドに割り当てられているパターンに応じて音声を周期的にカットします。

クロスフェーダーの操作を自動化しているので、簡単にスクラッチ演奏を楽しむことができます。

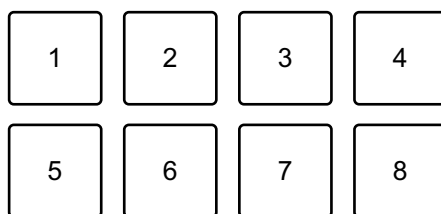
- トラッキングスクラッチモードを使用するには、事前にホットキューを設定する必要があります。
- トラッキングスクラッチモードで使用するホットキューポイントは、ホットキューモードで事前に呼び出してください。ホットキューポイントと呼び出していない場合は、ホットキュー A に設定されたホットキューポイントが選択されます。
- トラッキングスクラッチモードを使用する際は、VINYL モードをオンにしてください。

## 1 [TRACKING] SCRATCH モードボタンを押す

トラッキングスクラッチモードに切替わります。

## 2 パフォーマンスパッドを押す

各パターンおよび音声をカットするスピード調整は以下のようにパフォーマンスパッドの各パッドに割り当てられます。



1：パターン1、2：パターン2、3：パターン3、4：パターン4、5：パターン5、  
6：パターン6、7：スピードダウン、8：スピードアップ

- パターン1、パターン2およびパターン6については音声をカットするスピード調整はできません。

## 3 反対側のデッキにロードされているトラックのBPMに合わせて、時計回り、反時計回りにジョグ天面を回し続ける

手順2で選択したパターンに応じて音声がカットされます。

- パフォーマンスパッドをもう一度押すと手順2で選択したパターンが解除されます。

## ❖ Sampler を使う

サンプラーのサンプラーズロットにロードされているトラックを、パフォーマンスパッドで再生できます。

### 1 Serato DJ Lite 画面で [SAMPLER] パネルを開く

### 2 [SAMPLER] モードボタンを押す

サンプラーモードに切替わります。

### 3 Serato DJ Lite 画面でライブラリからトラックをドラッグ&ドロップし、[SAMPLER] パネルの各スロットにトラックをロードする

サンプラーの設定とロードしたトラックが保存されます。

## 4 パフォーマンスパッドを押す

押したパッドに割り当てられたスロットの音声を再生します。

各スロット、プレビアストラック、サーチおよびCensorは、以下のようにパフォーマンスパッドの各パッドに割り当てられます。

|   |   |   |   |
|---|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 | 4 |
| 5 | 6 | 7 | 8 |

1：スロット1、2：スロット2、3：スロット3、4：スロット4、  
5：プレビアストラック、6：サーチ ◀◀、7：サーチ ▶▶、8：Censor

- **[SHIFT]** ボタンを押しながらパフォーマンスパッドを押すと、再生中のスロットの音声を停止します。

## ❖ Trans を使う

デッキにロードされているトラックのBPMの拍タイミングに連動して、音をカットします。

### 1 **[SHIFT]** ボタンを押しながら、**[TRACKING] SCRATCH** モードボタンを押す

トランスモードに切替わります。

トランスの拍は、以下のように各パッドに割り当てられています。

|   |   |   |   |
|---|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 | 4 |
| 5 | 6 | 7 | 8 |

1：1/16拍、2：1/8拍、3：1/4拍、4：1/2拍、5：1拍、6：2拍、7：1/3拍、  
8：マニュアル

マニュアルのパッドを押している間、音がカットされます。

### 2 再生中にパフォーマンスパッドを押し続ける

パフォーマンスパッドを押し続けている間、拍タイミングに連動して音をカットします。

# Serato DJ Lite を使用する

- トランスモードは、チャンネルフェーダーが一番手前のときには動作しません。チャンネルフェーダーが一番手前の位置から動かした状態でお使いください。

## 3 パフォーマンスパッドから指を放す

通常の再生に戻ります。

## ❖ Scratch Bank を使う

スクラッチバンクの音声をデッキにロードして使用します。

スクラッチ用の音声をパッドを使ってすばやくロードすることができます。

## 1 Serato DJ Lite の画面で [SCRATCH BANK] パネルを表示する

## 2 [SHIFT] ボタンを押しながら、[SAMPLER] モードボタン押す

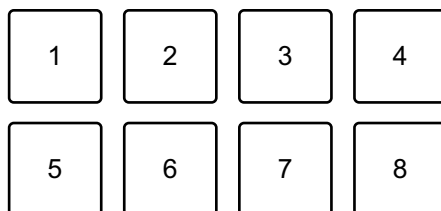
スクラッチバンクモードに切替わります。

## 3 Serato DJ Lite 画面でライブラリからスクラッチに使うトラックをドラッグ & ドロップし、[SCRATCH BANK] パネルの各スロットにトラックをロードする

## 4 ロードしたいスクラッチバンクの音声が設定されているスロットのパフォーマンスパッドを押す

スクラッチバンクの音声がデッキにロードされます。

各スロット、プレビアストラック、サーチおよび Censor は、以下のようにパフォーマンスパッドの各パッドに割り当てられます。



1：スロット1、2：スロット2、3：スロット3、4：スロット4、  
5：プレビアストラック、6：サーチ ◀◀、7：サーチ ▶▶、8：Censor

## 5 [SHIFT] ボタンを押しながら、パフォーマンスパッドを押す

前回ロードされていたトラックが、再度ロードされます。

---

## フェーダースタート機能を使う

### ❖ Channel Fader Start 機能を使う

#### 1 テンポラリーキューポイントを設定する

再生を開始したい位置で一時停止して、対応するデッキの[CUE]ボタンを押します。

#### 2 [SHIFT]ボタンを押しながら、チャンネルフェーダーを一番手前の位置から奥側に動かす

設定したテンポラリーキューポイントからトラックの再生を始めます。

- 再生中に[SHIFT]ボタンを押しながら、チャンネルフェーダーの位置を一番手前に戻すと、設定されているテンポラリーキューポイントに瞬時に戻り、一時停止状態になります（バックキュー）。

テンポラリーキューポイントが設定されていないときは、トラックの先頭から再生を始めます。

### ❖ Crossfader Start 機能を使う

#### 1 テンポラリーキューポイントを設定する

再生を開始したい位置で一時停止して、対応するデッキの[CUE]ボタンを押します。

#### 2 クロスフェーダーを動かして、左端または右端の位置にする

フェーダースタートさせたいチャンネルが設定されている側とは反対側の端に設定します。

#### 3 [SHIFT]ボタンを押しながら、クロスフェーダーを左端または右端の位置から逆側に動かす

設定したテンポラリーキューポイントからトラックの再生を始めます。

- 再生中に[SHIFT]ボタンを押しながら、クロスフェーダーの位置を元の位置に戻すと、設定されているテンポラリーキューポイントに瞬時に戻り、一時停止状態になります（バックキュー）。

テンポラリーキューポイントが設定されていないときは、トラックの先頭から再生を始めます。

## トラックを解析する

Serato DJ Lite の **[Analyze Files]** ボタンをクリックすると、ライブラリの中の未解析のトラックを解析することができます。また、未解析のトラックを **[Analyze Files]** ボタンへドラッグ&ドロップすることで解析することもできます。

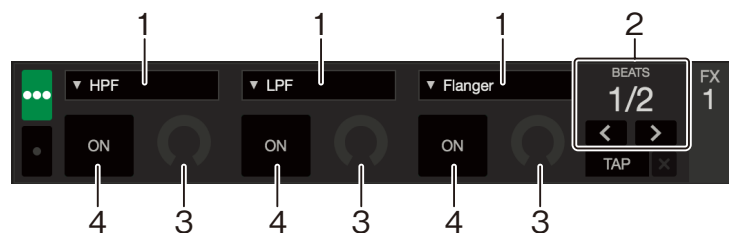
- 解析が完了する前のトラックをデッキにロードすると、BPM や波形表示に時間がかかる場合があります。
- トラックの数によっては、解析に時間がかかる場合があります。

## エフェクトを使う

Serato DJ Lite には FX1 と FX2 の2つのエフェクトユニットがあります。

- エフェクトユニット FX1 はデッキ1とデッキ3に、エフェクトユニット FX2 はデッキ2とデッキ4に適用されます。

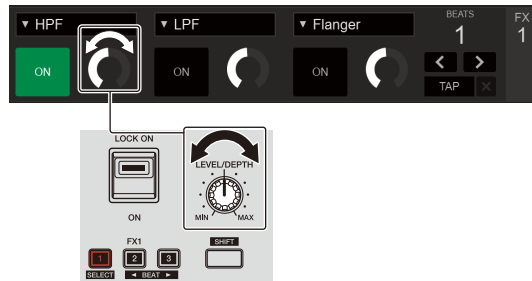
### ❖ Serato DJ Lite のエフェクトユニットの画面表示



- 1：エフェクトの種類
- 2：エフェクトの拍数
- 3：エフェクト量
- 4：エフェクトON/OFF

## ❖ エフェクトを操作する

Serato DJ Lite 画面上のFX1 のスロット1のエフェクトを操作する場合を例に説明します。



### 1 Serato DJ Liteの画面で[FX]パネルを表示する

### 2 [SHIFT]ボタンを押しながら、エフェクト[1]ボタンを押す

Serato DJ Lite画面上のFX1のスロット1にエフェクトの一覧が表示されます。さらに同じ操作を繰り返す、もしくはエフェクト[1]ボタンを押しながらロータリーセクター (back) を回すことにより、スロット1のエフェクトの種類を切替えることができます。

- スロット2およびスロット3についてはエフェクト[2]ボタンまたはエフェクト[3]ボタンを押しながらロータリーセクター (back) を回すことにより、エフェクトの種類を切替えることができます。

### 3 エフェクト[1]ボタンを押す

エフェクト[1]ボタンが点灯し、Serato DJ Lite画面上のFX1のスロット1にエフェクトが選択された状態になります。

- 複数のエフェクトを同時に使いたい場合は、エフェクトボタンを同時に押してください。
- Serato DJ Lite画面上の変化はありません。

### 4 [SHIFT]ボタンを押しながら、エフェクト[2]または[3]ボタンを押す

エフェクト音を同期させる拍の倍率を設定します。

### 5 [LEVEL/DEPTH]ノブを回して、エフェクトのパラメーターを調節する

Serato DJ Lite画面上のFX1のスロット1のパラメーターが動きます。

## 6 エフェクトレバーを[ON]または[LOCK ON]に合わせる

チャンネル1の音声にエフェクトがかかります。

- エフェクトレバーを中央の位置に戻すと、エフェクトがオフになります。

---

## マイクを使う

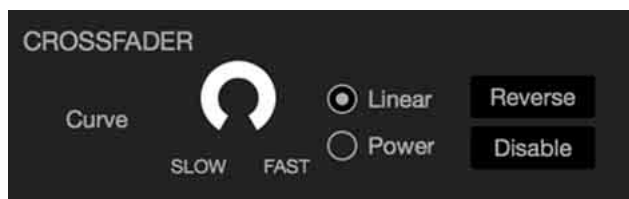
- 1 [MIC]入力端子にマイクを接続する
- 2 [MIC LEVEL]ノブを回して、[MIC]入力端子に入力される音声レベルを調整する
  - 右に回しすぎると、大音量で音声が出力されますのでご注意ください。
- 3 マイクに音声を入力する
  - 本機に入力されたマイク音声を Serato DJ Lite で加工することはできません。

---

## クロスフェーダーアサインを切替える

Serato DJ Lite 画面で、**[Reverse]**、**[Disable]** が選択できます。

- 1  をクリックする
- 2 **[Mixer]** タブ をクリックする
  - **[Reverse]**：クロスフェーダーアサインをリバースします。
  - **[Disable]**：クロスフェーダーを無効とし、スルー出力します。



## クロスフェーダーカーブを設定する

Serato DJ Lite画面で、クロスフェーダーカーブを設定できます。

1  をクリックする

2 [Mixer] タブ をクリックする

3 クロスフェーダーカーブを調整する

- [SLOW]側に回すほど、徐々に立ち上がるカーブになります。
- [FAST]側に回すほど、急峻に立ち上がるカーブになります。

---

## PC/Macへ入力される音声を使う

本機は[MIC]入力端子から入力される音声とSerato DJ Liteのマスター音声をミックスした音声をUSBを介してPC/Macへ入力します。

DJプレイの配信などにお使いいただけます。

- PC/Macへ入力される音声の音量は、お使いになる配信アプリなどで調節してください。  
本機の[MASTER LEVEL]ノブを使用して音量を調節することはできません。

---

---

# 本機の設定を変更する

---

---

## ユーティリティーモードを起動する

DJ アプリケーションを閉じてからユーティリティーモードを起動させてください。

- 1 USBケーブルをPC/Macから抜く
- 2 左側デッキの[CUE]ボタンとプレイ／ポーズ [▶/■] ボタンの両方を押し  
ながら、USBケーブルをPC/Macに接続する

ユーティリティーモードが起動します。

- 3 設定を変更したい項目について本機を操作する

設定を変更すると変更内容が保存されます。設定を保存中は右側デッキのパフォーマンスパッド1～5が点滅しますので、消灯するまでお待ち下さい。点滅中にUSBケーブルを抜くと変更内容が保存されない場合があります。

- 4 USBケーブルをPC/Macから抜いて、本機の電源をオフにする

ユーティリティーモードを終了します。

## ユーティリティーモード

ユーティリティーモードでは以下の設定を変更できます。

- フェーダースタート
- バックスピンレングス
- クロスフェーダーカットラグ
- デモモード

### ❖ フェーダースタートの設定を変更する

フェーダースタート機能の設定を変更できます。

**左側デッキのパフォーマンスパッド1～3のいずれかを押す**

- パッド1点灯：Sync設定ありのフェーダースタート（フェーダースタート開始と同時にSync機能が働きます。）
- パッド2点灯：Sync設定なしのフェーダースタート（フェーダースタート開始時にSync機能は働きません。）（初期設定）
- パッド3点灯：フェーダースタート機能は無効

### ❖ バックスピンレングスの設定を変更する

本機はジョグをバックスピン操作した際、実際のジョグの回転量よりも長くバックスピンさせることができます。

バックスピンの長さは、ショート／ノーマル／ロングの3種類から選択できます。

**左側デッキのパフォーマンスパッド5～7のいずれかを押す**

- パッド5点灯：ショートが設定されます。
- パッド6点灯：ノーマルが設定されます。（初期設定）
- パッド7点灯：ロングが設定されます。

### ❖ クロスフェーダーカットラグの設定を変更する

クロスフェーダー両端の遊び（カットラグ）を調整します。

1から53まで53段階で調整できます。

- 初期設定では8に設定されています。

**ロータリーセレクター（back）を回してから押す**

チャンネルレベルインジケータとパフォーマンスパッドの点灯状態で現在の設定値（1から53）を表示します。

- 右側デッキのパフォーマンスパッドの点灯個数：10の位
- チャンネル1、チャンネル2のチャンネルレベルインジケータの点灯個数の和：1の位

# 本機の設定を変更する

例：右側デッキのパフォーマンスパッドの点灯個数が2個、チャンネル1のチャンネルレベルインジケータの点灯個数が3個、チャンネル2のチャンネルレベルインジケータの点灯個数が5個、の場合、設定値は、28 ( $20 + 3 + 5 = 28$ ) になります。

## ❖ デモモードの設定を変更する

本機は通常の使用状態で10分間本機の操作がない場合、デモモードを開始します。

- デモモード開始後、いずれかのノブやボタンを操作すると、デモモードを解除することができます。

### 左側の[HOT CUE]モードボタンを押す

- [HOT CUE]モードボタン点灯：デモモード有効（初期設定）
- [HOT CUE]モードボタン消灯：デモモード無効

---

---

# その他

---

---

## 故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、下記の項目およびPioneer DJサポートページへアクセスして、**[DDJ-REV1]**の**[よくある質問 (FAQ)]**を確認してください。

[pioneerdj.com/support/](http://pioneerdj.com/support/)

また、本機と接続している機器もあわせて確認してください。それでも正常に動作しないときは、「使用上のご注意」をお読みのうえ、販売店にお問い合わせください。

- 静電気など、外部からの影響により本機が正常に動作しないことがあります。このようなときは、電源を入れなおすことで正常に動作することがあります。

---

---

## 電源

### ❖ 本機の電源が入らない

- 「接続する」(21 ページ) を参照してください。

## 接続

### ❖ 本機が認識されない

- 付属のUSBケーブルを正しく接続してください。「接続する」(21 ページ)を参照してください。
- USB ハブは使えません。PC/Mac と本機を付属のUSB ケーブルで直接接続してください。
- スクリーンセーバーや常駐ソフトも含め、すべてのアプリケーションを終了してください。(ウイルスセキュリティソフト等を終了する場合は、PC/Mac の安全を確保するためにインターネット接続を切断した状態で確認してください。)
- 外付けハードディスクやキーボード等を取り外してください。内蔵ハードディスクだけの状態にして、確認してください。
- お使いのPC/Mac にUSB Type-A 端子が複数ある場合は、他のUSB Type-A 端子で確認してください。
- Mac をお使いの場合、macOS のユーティリティソフトウェア **[Audio MIDI 設定]** を起動し、メニューバーの **[ウインドウ] > [オーディオ装置を表示]** で **[DDJ-REV1]** が表示されるか確認してください。
- Mac をお使いの場合、サウンド設定が正しく設定されていない可能性があります。本機と接続しているUSBケーブルを外してから、macOS のユーティリティソフトウェア **[Audio MIDI 設定]** を起動し、**[MIDI ウインドウ]** または **[MIDI スタジオ]** を表示させます。**[DDJ-REV1]** アイコンを選択してから **[装置を削除]** をクリックします。(アイコンは **[DDJ-REV1]** ではなく、**[USB MIDI 装置]** になっている場合があります。その場合は **[USB MIDI 装置]** を選択します。) 再度、本機とUSBケーブルで接続すると **[DDJ-REV1]** アイコンが表示されます。
- Windows をお使いの場合、**[デバイスマネージャー] > [サウンド、ビデオ、およびゲームコントローラー]** 下に **[DDJ-REV1]** が表示されるか確認してください。

## 音

### ❖ 音が出ない/音が小さい/音が途切れる

- **[TRIM]**ノブ、チャンネルフェーダー、クロスフェーダーおよび**[MASTER LEVEL]**ノブを正しい位置に設定してください。「トラックを再生する」(32 ページ)を参照してください。
- 接続ケーブルを正しく接続してください。「接続する」(21 ページ)を参照してください。
- 端子やプラグの汚れを拭き取ってから接続してください。
- 音声途切れるときは、DJソフトウェアのバッファサイズを適切に設定してください。

### ❖ マイクの音が出ない

- **[MIC LEVEL]**ノブを正しい位置に設定してください。「本体背面部」(19 ページ)を参照してください。

### ❖ ヘッドホンの音が小さい

- 本機はUSB端子からの給電が不足すると、ヘッドホンの音量に制限を加えます。DJプレイに使用しない機器が別のUSB端子に接続されている場合は、それらを抜いて電力を確保してください。

## Serato DJ Lite

### ❖ Serato DJ Liteの動作が不安定になる

- Serato DJ Liteのバージョンを最新にしてください。「Serato DJ Liteをインストールする」(25 ページ)を参照してください。
- Serato DJ Lite以外のソフトウェアを使用している場合は、そのソフトウェアを終了してください。それでも不安定な状態が続く場合は、ワイヤレスネットワークなどの無線接続、ウイルス対策ソフト、スクリーンセーバー、省電力モードなどを無効にしてください。(ウイルス対策ソフト等を終了する場合は、PC/Macの安全を確保するためにインターネット接続を切断した状態で確認してください。)
- PC/Macに本機以外のUSB機器が接続されている場合は、外してください。
- USBハブを使用している場合は、使用を止めてください。
- ノートパソコンをバッテリーで駆動している場合は、ACアダプターから電源供給してください。

### ❖ ライブラリにトラックが表示されない

- ライブラリにトラックがない場合は、音楽ファイルをインポートしてください。インポート方法の詳細については、「トラックをインポートする」(30 ページ)を参照してください。
- トラックが入っていないcrateまたはsubcrateを選んでいる場合は、トラックが入っているcrateまたはsubcrateを選ぶか、crateまたはsubcrateにトラックを追加してください。

### ❖ ライブラリにiTunesの曲が表示されない

- [SETUP]メニューの[Library + Display]タブの中の[Show iTunes Library]にチェックを入れてください。すでにチェックが入っている場合は、一旦チェックを外してから再度チェックを入れてください。インポート方法の詳細については、Serato DJ Liteのソフトウェアマニュアルをご覧ください。
- トラックが入っていないcrateまたはsubcrateを選んでいる場合は、トラックが入っているcrateまたはsubcrateを選ぶか、crateまたはsubcrateにトラックを追加してください。

### ❖ Serato DJ Liteのバーチャルデッキが表示されない（プラクティスモード（練習モード）で表示される）

- 付属のUSBケーブルを正しく接続してください。「接続する」(21 ページ)を参照してください。
- Serato DJ Liteのバージョンを最新にしてください。「Serato DJ Liteをインストールする」(25 ページ)を参照してください。

### ❖ フェーダースタート機能が動作しない

- テンポラリキューを設定してください。
- ユーティリティーモードでフェーダースタートの設定を有効にしてください。「フェーダースタートの設定を変更する」(48 ページ)を参照してください。

### ❖ BPM が表示されない/SYNC機能、オートループ機能が動作しない

- [Analyze Files] ボタン横の歯車アイコンをクリックし、[Set BPM]にチェックを入れてから、曲を解析してください。曲の解析方法についての詳細は、Serato DJ Liteのソフトウェアマニュアルをご覧ください。

### ❖ BPM が正しく表示されていない

- BPM解析範囲を変更してから、再度、曲を解析してください。それでも解決しない場合は手動でBPMを設定してください。

## ❖ クロスフェーダーが効かない

- Serato DJ Lite のクロスフェーダーの設定項目にある **[Disable]** を解除してください。

---

## その他

## ❖ インジケーターが点滅して動作がおかしくなる。

- 動作がおかしい、もしくは起動しない場合は、USB ケーブルを一度抜いて、しばらく経ってから再度USB ケーブルを接続してください。それでも症状が発生する場合は、修理を依頼してください。

# 仕様

## 本体一般

|                          |                        |
|--------------------------|------------------------|
| 電源 .....                 | DC 5 V                 |
| 定格電流 .....               | 500 mA                 |
| 本体質量 .....               | 2.1 kg                 |
| 最大外形寸法 (W × D × H) ..... | 526 × 255.5 × 59.2 mm  |
| 許容動作温度 .....             | + 5 °C ~ + 35 °C       |
| 許容動作湿度 .....             | 5 % ~ 85 % ( 結露のないこと ) |

## オーディオ部

|                      |         |
|----------------------|---------|
| サンプリングレート .....      | 48 kHz  |
| A/D、D/A コンバーター ..... | 24 bits |

## 周波数特性

|                            |                |
|----------------------------|----------------|
| <b>USB、MIC</b> .....       | 20 Hz ~ 20 kHz |
| S/N 比 ( 定格出力時、A-Weighted ) |                |

|                  |        |
|------------------|--------|
| <b>USB</b> ..... | 103 dB |
|------------------|--------|

## 全高調波歪率 (20 Hz ~ 20 kHzBW)

|                  |         |
|------------------|---------|
| <b>USB</b> ..... | 0.005 % |
|------------------|---------|

## 入力インピーダンス

|                  |         |
|------------------|---------|
| <b>MIC</b> ..... | 3 kΩ 以上 |
|------------------|---------|

## 出力インピーダンス

|                     |         |
|---------------------|---------|
| <b>MASTER</b> ..... | 1 kΩ 以下 |
|---------------------|---------|

|                    |         |
|--------------------|---------|
| <b>ヘッドホン</b> ..... | 10 Ω 以下 |
|--------------------|---------|

## 定格出力レベル / 負荷インピーダンス

|                     |                |
|---------------------|----------------|
| <b>MASTER</b> ..... | 2.1 Vrms/10 kΩ |
|---------------------|----------------|

## 入力 / 出力端子

### MIC 入力端子

|                    |      |
|--------------------|------|
| 1/4" TS ジャック ..... | 1 系統 |
|--------------------|------|

### MASTER 出力端子

|                  |      |
|------------------|------|
| RCA ピンジャック ..... | 1 系統 |
|------------------|------|

### ヘッドホン出力端子

|                         |      |
|-------------------------|------|
| 3.5 mm ステレオミニジャック ..... | 1 系統 |
|-------------------------|------|

### USB 端子

|                     |      |
|---------------------|------|
| USB Type-B 端子 ..... | 1 系統 |
|---------------------|------|

- 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

---

## 他のDJソフトウェアのコントローラーとして使用する

本機は、ボタンやノブなどの操作情報を汎用のMIDI形式でも出力します。MIDI対応のDJソフトウェアをインストールしたPC/MacとUSBケーブルを使って接続すると、本機でDJソフトウェアを操作できます。(DJアプリケーションのMIDIに関する設定を行う必要があります。)

- 詳しくは、お使いのDJソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

---

## MIDIメッセージについて

本機のMIDIメッセージについては、「MIDIメッセージ一覧」をご覧ください。

- 「MIDIメッセージ一覧」は下記のURLより入手できます。

[pioneerdj.com/](http://pioneerdj.com/)

---

## 商標および登録商標について

- Mac、macOS および Finder は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Serato DJ Lite、Scratch Live、ITCH、Serato DJ、Serato DJ Pro および Serato DJ Intro は、Serato Limited 社の登録商標です。

その他記載されている商品名、技術名および会社名などは、各社の商標または登録商標です。

### MP3の利用について

本製品は非営利的使用のためのみにライセンスされており、営利目的での（収益が発生するような）、実際の放送（地上波放送・衛星放送・有線放送・あるいは他のメディアを利用した放送）、インターネットやイントラネット（企業内ネット）あるいは他のネットワークを利用した放送・ストリーミング、またはその他の電子的情報を提供するシステム（音楽の有料配信など）のためには、ライセンスされていません。このような使用には、個別にライセンスを取得する必要があります。詳しくは、<http://www.mp3licensing.com> をご参照ください。

---

## ソフトウェアのライセンス

### Apache

Copyright (c) 2009-2019 ARM Limited. All rights reserved.

SPDX-License-Identifier: Apache-2.0

Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the License); you may not use this file except in compliance with the License.

You may obtain a copy of the License at

[www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0](http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0)

Unless required by applicable law or agreed to in writing, software distributed under the License is distributed on an AS IS BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied.

See the License for the specific language governing permissions and limitations under the License.

### BSD

The BSD-3-Clause License

Copyright (c) 2015, Freescale Semiconductor, Inc.

Copyright 2016-2020 NXP

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name of the copyright holder nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES,

INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

---

## 著作権についてのご注意

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

- CDなどから録音される音楽は、各国の著作権法ならびに国際条約で保護されています。  
また、録音した者自身が、それを合法的に使用するうえでのすべての責任を負います。
- インターネットなどからダウンロードされる音楽を取り扱う際は、ダウンロードした者自身が、ダウンロードサイトとの契約に則ってそれを使用するうえでのすべての責任を負います。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

© 2021 AlphaTheta株式会社  
<DRJ1090-B>